

# 平成 24 年度「グローバル人材育成推進事業」

平成 24 年度文部科学省の「グローバル人材育成推進事業」に、国際関係学部が申請した「行動力あるアジアグローバル人材の育成」が採択されました。同支援事業には、国公立 111 の大学等が申請し、31 件が採択されています。

## 亜細亜大学が育成するグローバル人材

亜細亜大学では、学部教育、国際教育、キャリア・サポートなど多彩な「学び」の要素の融合を図り、アジアの共生に貢献し、新たな価値を創造できる「行動力あるアジアグローバル人材」を育成します。



## 「未来」とつながる5つの留学プログラム

留学先は、北米からヨーロッパ、アジア、オセアニアまで実にさまざま。短期の語学研修から、5か月～1年に及ぶ長期留学プログラムもあります。学生の「未来」につながるプログラムです。



## 留学中の学生への遠隔サポート&教職員の現地派遣による直接サポート

また留学中も、課題の進捗状況をチェックしたり、心身の健康状態を含めた学生の相談に応じたりアドバイスできる仕組みを取っています。今後は、留学している学生の目標達成をより積極的に支援するため、一定の期間で教職員が現地を訪れるなど、Face to Faceで直接指導する体制も整えていく予定です。

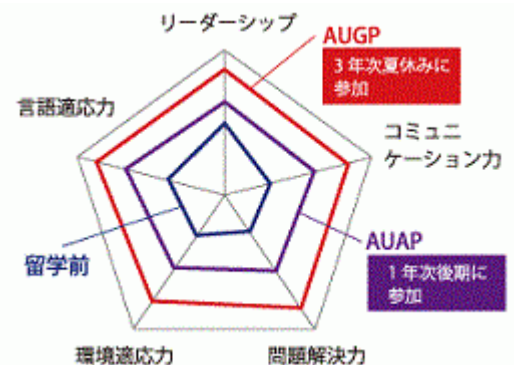
## 留学効果測定アセスメントシート

### 「グローバル・ビジネスリテラシー」を測る評価シート

海外で得た経験は必ず自分の「学び」を豊かにしてくれます。しかし、ただ体験した、楽しかったというだけでは、その経験を就職や将来のキャリアにつなぐことはできません。

亜細亜大学では、企業の協力も仰ぎながら、「グローバル人材」に必要な力を明確化し、留学の成果を測定できる「アセスメントシート」を開発し、積極的に活用しています。

留学前・留学中・留学後、全ての過程で常にグローバルな仕事に求められる力の修得を自覚して過ごすことによって、留学が将来に繋がる意義のあるものとなります。



## 留事業構想・計画

現在、日本社会では、グローバル人材というキーワードが注目を浴びています。しかし、実際には、まだその定義づけも曖昧で、言葉だけが一人歩きをしているのではないのでしょうか。今、必要なグローバル人材とは、語学力を中心とした知識や学力に長けた人材のみを指すものではありません。それぞれの国と地域の文化や環境に精通し、現地のスタッフと心を通わせながら、企業活動や地域活動を進めていくことができる"現場のリーダーとなれる人材"だと亜細亜大学は考えています。

日々の生活でも数多くの予想外の出来事に遭遇する海外。生き抜くためには、語学力、知力、コミュニケーション力はもちろん、適応力、対応力、問題解決力が必要です。さらに、自らの意志を持ち、行動に移していくことができる行動力と主体性も不可欠です。亜細亜大学では、事業採択を受けた国際関係学部を核として、アジアの現場で、積極的かつ自律して自らの役割を果たすことができる真のプロフェッショナル、"行動力あるアジアグローバル人材"の育成を掲げ、学生が自発的にキャリア形成を行えるような教育環境整備に取り組んでいます。

## グローバル人材として求められる能力の育成

本学は「行動力あるアジアグローバル人材」に求められる、以下の能力を育成します。

### (1) 国内外の企業や地域で活躍できる現地体験と現地知識を有する

仕事の現場、地域の生活における問題解決のための情報収集、分析、創造的思考、チームワーク、リーダーシップ、コミュニケーション、規律や柔軟性などの総合的な力の必要性を知り、また、その能力を持つ。

### (2) 異文化コミュニケーションを円滑に行い現地に容易に適応できる

異なる文化への尊敬と理解、その違いを受け入れる柔軟性、人柄、そして何よりも異なる環境での生活に耐える身体とその管理の知識を持つ。

### (3) 外国語の実践的運用能力がある

国際語として使用される英語の最低限の運用ができ、さらに高度な英語力、当該地域の言語を運用できる。

### (4) 社会科学の知識を備え、それを活用して活躍できる

社会のグローバルな動きに常に興味を持ち、考え、行動するために、その基礎となる社会科学の知識を持ち、事象の分析力、論理的思考力を備えている。

## ロードマップ（実施計画概要）

### 平成 24 年度〈創設期 I〉

初年度生に対し、英語教育と英語以外の語学教育を重点的に行います。また、海外インターンシップやフィールドスタディーの実施に向けた現地調査なども行います。

### 平成 25 年度〈創設期〉

留学中の学生に対する遠隔指導（WEB 会議システムの新規利用）、アセスメントに基づくキャリア指導等、海外プログラムにおける協力企業体制などの整備を行います。

## 平成 26 年度〈充実期〉

「多文化インターンシップ」「多文化フィールドスタディー」などの体験的海外学習を留学前後のプログラムを含めて本格的に実施。英語のより高度な運用能力を養う指導体制も整えます。

## 平成 27 年度〈拡充期〉

初年度生が 4 年次で履修する卒業研究ゼミをグローバル人材としての"自分仕上げ"の授業として展開。留学成果を生かした適切な就職指導体制を本学キャリア支援課とともに確立します。

## 平成 28 年度〈完成期〉

事業全体の総合的な評価を行い、成果発表を行います。また、教育体制と海外プログラムもより発展的な展開を検討。卒業生が目標とする資質を有しているかの評価も受けます。